

# ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2019

高校生たちが考えた様々な企画やプログラムを大勢の生徒・保護者たちが参加し、体験して未来につながる交流の場となつた――いざれも大阪市西区王佐堀の大坂YMCA



「私たちが描く持続可能な社会の

# 朝日新聞

2019年(令和元年)

12月15日

日曜日

発行

朝日新聞

大阪本社

代表室CSR推進

TEL 06-6201-8700

主催

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth運営委員会／特定非営利活動法人 関西NGO協議会



ワン・ワールド  
高校生の発意により  
校生のための」国  
校生実行委員・ボ  
生たちが、夏から  
ワシ・

# ワールド・フェスティバル for Youthとは

・フェスティバル for Youthは、り残さない社会の実現を考え、企画・運営を行います。つてはじまた「高校生がつくる、高  
校生が企画したプログラムやワークショップ、研究報  
告、ボランティア活動紹介、ポスターセッションや助成  
ランティアリーダーに手を挙げた高校  
準備をし、持続可能な社会、誰一人取  
い、つながり、行動に移す場でもあります。

# の未来



## 6年目を迎えて、いよいよみなさんの出番です

大阪大学COデザインセンター「社会イノベーション部門」教授  
ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 運営委員長

地球温暖化による自然の猛威を眼前にして、果たしてます。物欲の借財は愈々支払い猶予の待ったなしです。今からSDGsを学んで何が出来るのか、不安な気持ち今さら大風呂敷を広げても逆に焼け石に水で、小さくとが先行します。16歳のスウェーデンの少女が号泣しても、一つでよいので、身近な社会問題を見つけ出しても、産業革命以来、その時々の利便性を最大限に追求す納得のいく解決法をあみだし、地に足のついた活動を始める文明人のエゴは止むことなく、さらに文明の利器を生めたいものです。因みにみんなに負けないように、私み出しても、性懲りもなく次の段階を極めようとしている感染症結核対策に取り組んでいます。

グローバル課題の理解を深め、国際協力・SDGsを身近に感じられる「場」をつくるとともに、関心ある人同士が繋がり、行動につなげる「場」として高校生が主体となってワン・ワールド・フェスティバル for Youthが15日、大阪市西区土佐堀の大阪YMCAで開催され、多くの生徒や教員、NGO/NPO、そして保護者たちが訪れた。

ワン・ワールド・フェスティバル for Youthは、2014年に関西における若い世代がグローバル課題の解決を考え、行動するためのフェスティバルとして、高校たち考えたコンセプトは「私たちが描く持続可能な社会の未来図」で、今回で6回目の開催となる。

関西地域の公立・市立高校10校から11人が集まつた高校生実行委員会が、企画運営の中心となって、夏から月1回の会議、月2~3回のスカイプ会議を重ね全体テーマやプログラムの企画立案、当日運営など、協力してイベントを作り上げた。また、高校生ボランティアリーダーと、ワンフェスユースを経験した大学生OV会が一緒にチームを結成。夏から月1回のミーティングと研修、NGO訪問を行い、このイベントのための国際協力、ボランティアコーディネーション、チラシ作りなどを学び、当日は160人を超える高校生ボランティアを束ねるリーダーとして活躍した。

会場となつた大阪YMCAでは、高校生、高校・大学、企業、NGOなどが企画するワークショップやプログラム(11プログラム)、ブース出展(50団体)、高校生の海外フィールド活動報告(4校)、高報道(4校)、高校生のための国際協力助成プログラム、ポスターセッション、多国籍カフェなどが催された。訪れた多くの生徒や先生、保護者が参加、体験して未来につながる交流の場となり、つながりと学びを深めていった。

## SDGsへの1歩

(特活) 関西NGO協議会事務局長・理事 高橋 美和子

ワンフェスユースは「高校生のための高校生による国に変えたのは一人の高校生の発意であり、それに賛同際協力フェスティバル」として2014年に大阪はじめした高校生たちでした。その過程で、教員やNGOから開催されました。様々な高校の生徒が集まり、貧困、環境、ジェンダー、難民、災害など地球規模の課題を自分たちの生活とひきつけて考え、その感性を大切にしながら同じ思いの仲間とつながり行動に移す場でもあります。このイベントを「大人が高校生のために用意する」一人取り残さない社会」にむけた、小さくとも貴重な一歩であるという思いで応援しています。

## イベント・プレゼント・アンケート・グッズ一覧

### 朝日ID by 朝日新聞社

朝日新聞社が実施するイベント募集やアンケート、プレゼント応募、グッズ販売のご紹介ページです。

#### カテゴリー別

有料イベント・無料イベント・プレゼント・アンケート・グッズ販売・テーマ・地域

朝日小学生新聞  
朝日新聞・朝日中高生新聞

の購読及び無料お試し読みについてのお問い合わせは

0120-33-0843 (受付 7時~21時)



朝日新聞  
EduAは、  
(エデュア)

学齢期の子どもを持つ保護者のみなさんと、  
学習や教育に関する様々な迷いや悩みを共有し、  
よりよい選択を共に考えるメディアです。

2020教育改革にともない入試もかわります。  
EduAは「お役立ち」の教育情報を掲載!  
ご家庭でできる新聞活用法も必見です。

○イチからわかる! 入試特集  
○充実の教育連載&コラム  
○読解力アップ! 新聞活用法  
など内容盛りだくさん!

朝日新聞



ウェブサイト EduA 検索  
<https://edu.a.asahi.com/>



# ワンフェスユース2019 ~私たちが描く持続可能な社会の未来図~



## ワンフェスユース高校生実行委員会 &

全ての人に知る、行動するきっかけを

メインフォーカル

立命館宇治高等学校3年 岩田 秋桜

今年は今までがない、今年ならではのワンフェスユースを作ります！特長はどんな人でも楽しめ、深く探究できる点です。今の時代を生き、これからの時代を生きていく高校生こそが自分の暮らす国だけではなく、世界を知り、未来に行動していく必要があると私は考えます。当日は1人ひとりの参加者のみなさんが人々と繋がり、学び合って未来と一緒に考えるような場にしていきたいです！！みんなで一緒につくりあげましょう！

地球市民としての第一歩

「無関心に立ち向かおう！」プロジェクトリーダー

関西学院千里国際高等部3年 鈴木 千花

私は、このプログラムでもテーマにしているコンゴ民主共和国での紛争や、紛争下における性暴力について知った時、自分が生きてきた環境との大きな違いに驚愕しました。そして、同じ地球市民として、何か行動を起こさなければいけない、起こしたい、と思い、このイベントの高校生実行委員に応募しました。イベントを通して、たくさんの方が、地球市民としての第一歩を踏み出せるようにしたいです！SDGsを楽しく学びましょう！

ボッチャ＆クイズでSDGsを知ろう！ 「パラリンピック競技体験＆クイズ」プロジェクトリーダー

神戸龍谷高等学校3年 地黄 ありさ

2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるという記念すべき機会に併せ、パラリンピックの競技を実際に体験し、興味を深めようといった企画にしています。気軽にSDGsについて知り、持続可能な社会にするための発信を私たちができることをとても光栄に思います。今年はさらに充実した企画を揃え、たくさんの人々と繋がり、SDGsを自ら考える機会になると確信しております。私たちと共に学び、楽しみましょう！



## &ボランティアリーダー

### SDGs、伝えたい

SDGsの達成に近づける上では必ず必要なことは、より多くの人にSDGsについて深く知ってもらうことだと考えています。そのために、私が今できることは、この活動に携わることだと思い、参加を決めました。ここで知り合った、学年、学校、職業、都道府県を超えた仲間と共に、活動を盛り上げ、来場者の方々にSDGsについて深く知ってもらいたいです。あなたも、この機会に、自分は何ができるか?と問い合わせてみて下さい。



### ワンフェスユースボランティアリーダー

桃山学院高等学校1年 池田 有里菜

### イベント、成功させる

私は今回初めてボランティアリーダーを務めさせて頂きます。イベントが上手いくかという不安と、初めて大きなイベントを作るというワクワクでいっぱいです。今回のイベントが、来場者の皆さんにとって世界の文化や問題、そしてSDGsについて楽しんで学んでいただける良い機会になればいいなと思います。全ての人に楽しんでもらえるよう一生懸命準備していきます。よろしくお願ひします。

**高校生が考える社会課題解決のためのSDGsアクションアイデア大賞**

**SDGs Quest みらい甲子園(関西エリア大会)**

高校1・2年生による、持続可能な社会にむけた社会課題解決のための「SDGsアクション」アイデアを募集します

第1回募集 2019.12.7 ~ 2020.2.21

SDGs Quest みらい甲子園 関西エリア大会 参加資格:関西二府四県在住の高校1年生・2年生(チーム制)

詳しくは <http://www.sdgs.ac>

社会を変える「SDGsアクション」アイデアをプレゼンテーションしてSDGsアクション大賞獲得を目指そう

2020年3月21日(土)開催 中之島会館

お問い合わせ SDGs Quest みらい甲子園 事務局(株式会社TREE SDGs.TV内) 〒248-0012 神奈川県鎌倉市御成町13-37-2F info@sdgs.ac

募集要項 SDGs:持続可能な社会を実現するために、解決していかたい、あるいは、変えたいと考える「探求テーマ」(課題)を1つ選び、その解決策となる具体的な「SDGsアクション」アイデアを募集します。

募集要項	SDGs:持続可能な社会を実現するために、解決していかたい、あるいは、変えたいと考える「探求テーマ」(課題)を1つ選び、その解決策となる具体的な「SDGsアクション」アイデアを募集します。
参加資格	関西二府四県在住の高校1年生・2年生(枚数制)
参加単位	チーム制(2名~最大6名)
提出形式	プレゼンテーションが可能なデジタル形式のスライド5枚データ(形式は自由) ・文字や写真、図表など表現方法は自由です ・5分間でプレゼンテーションが完結するようにポイントを絞ってください
提出内容	1. 表紙: タイトル、学校名、チーム名、代表者名 2. 「探求テーマ」とそれを選んだ理由 3. 「探求テーマ」を解決するための具体的な「SDGsアクション」アイデアと その「SDGsアクション」で解決できる目標(Goal)実現数可 4. その「SDGsアクション」を社会や生活のなかで実践・広めるための方法 5. その「SDGsアクション」が広まると世界や社会はどう変わるのか
募集期間	2019年12月7日~2020年2月21日
応募先	SDGs Quest みらい甲子園 専用ホームページより <a href="http://www.sdgs.ac">http://www.sdgs.ac</a>

審査と表彰

- エントリー(提出)
- 選考審査会
- エリア大会出場者(10チーム程度)決定
- SDGs Quest 甲子園 関西エリア大会
- プレゼンテーション (1チーム5分間)
- 審査
- 各賞決定

SDGs Quest みらい甲子園 関西エリア大会  
2020年3月21日(土) 中之島会館  
審査会に選定されたチームは会場までの交通費等事務経費が負担します(5名まで)

輝くみらいを仲間と探しに出掛けよう